

会議録

会議の名称	令和5年度第2回西東京市地域福祉策定・普及推進委員会
開催日時	令和5年6月28日(水) 18時30分～20時00分
開催場所	田無第二庁舎4階会議室2・3
出席者	熊田委員(委員長) 小口委員 新野委員 伊藤委員(副委員長) 中野委員 佐藤委員 坂根委員 山崎委員 中岡委員 篠宮委員
欠席者	南委員、米本委員
議題	(1)前回議事録について (2)骨子案について (3)その他
会議資料の名称	次第 ○前回議事録 ○資料1 次期計画骨子案 ○資料2 第5期西東京市地域福祉計画策定スケジュール(令和5年度)(案) ○参考資料 計画策定ガイドライン該当表
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

■開会

傍聴希望者なし。

事務局から、配付資料の確認。

■議題(1)前回議事録について

事務局から説明。会議後、1週間以内に指摘があればお願いする。

■議題(2)骨子案について

事務局から、資料1【次期計画骨子案】を説明。

【主な意見】

○委員長

今回、新たに作成・包含する西東京市成年後見制度利用促進基本計画と西東京市再犯防止推進計画の掲載方法への意見をいただきたい。

○委員

B案を希望する。地域福祉と成年後見は法律の体系が異なるし、特に支援する側の課題が大きくなる。これからは市民への意識づけが重要になるため、章立てにすることで市民の理解が深まるし、注目度が違ってくる。

○委員

B案を希望する。市民の理解が深まるし、保護司の気持ちの持ち方も違ってくる。A案は埋没することを懸念する。

○委員

B案で良い。地域福祉計画の基本目標、施策に一文を入れて、後の2計画ででてくるようにしても良い。

○委員

B案で良い。市民が見たとき、意識しやすい。

○委員

B案で良い。デメリットの軽減の工夫は必要である。

○委員

B案で良い。市民に分かりやすい。

○委員

B案で良い。市民に分かりやすい。

○委員

B案で良い。細かく議論できる。

○副委員長

B案で良い。対象、背景が異なるし、最初の計画でもあるため。各委員の言うデメリットの軽減の工夫もして欲しい。

○委員長

B案で進めることとする。章立てにする際、地域福祉計画との関連付けに気を配る必要がある。次に、全体的なことへの意見をお願いしたい。

○委員

生きる支援推進計画とは何か説明して欲しい。

●事務局

自殺対策計画である。今年度、健康づくりプラン、生きる支援推進計画を同時に策定している。

○委員

社協でも活動計画を策定中である。この計画に現行計画を振り返るコメントを入れるのか。

●事務局

今後、検討する。

○委員長

4期の到達点、5期の課題を入れたい。

○委員

市民意見は見やすくなっている。P16～17の課題も同じように見やすくなると良い。

●事務局

内容の検討とともに、見やすくしていく。

○委員長

黒ぼちがあると市民は見やすい。P16～17の課題も見やすくする工夫をしたい。

○委員

統計データに成年後見の相談件数以外の支援件数なども加えると、実態がより伝わる。

●事務局

今後、検討する。

○委員長

成年後見計画につながるよう、データを掲載していきたい。

現行計画は、市民意見を記載するワークブック形式にしたが、どの程度、活用されたか分かるか。

●事務局

ワークブック形式の活用についてのデータはとっていないが、イベントやワークショップなどで

は付箋やシールを用いながら、市民から積極的に意見をいただけた。市の経験にもつながっている。

○委員長

現行計画をワークブック形式にしたのは、計画書を「読みもの」から市民に「使えるもの」にするチャレンジであった。計画書を見てもらうかが大事であり、使えるものにする工夫をしたいので、今後、委員からも意見をいただきたい。

○副委員長

グラフの字を大きくして欲しい。資料編で社会資源なども紹介してはどうか。

○委員長

新しい計画も包含することになるため、用語リストを更新する必要がある。

○委員

課題の書き方について、市民から「つながり、交流が少ない」という意見であるため、課題は「地域のつながりが希薄化しています」より、「居場所づくり」と考える。

●事務局

課題の見直しも検討していく。今回は議論が深まるよう、考察部分をあえて示していない。

○委員

現在、中間案まで策定が進んでいる西東京市第3次総合計画の内容を参考にしていくのか。ネットワークやコーディネーターを充実させる点はどうか。

●事務局

西東京市第3次総合計画ではエリアを設定する予定もあるので、本計画も歩調を取る。意見をいただきながら、ネットワーク、コーディネーターの記載も検討していく。

事務局から3点を検討していただきたい。

検討項目①(P13～)2 市民等の意見(各種調査結果)。現行計画はアンケート種別ごとに記載したが、今回はテーマごとに記載した。どちらが分かりやすいか、意見を伺いたい。

検討項目②(P16～) 3 地域福祉を進める上での課題。コロナの課題を別立てにしたことについて、意見を伺いたい。

検討項目③(P25～) 1 協働による計画の推進。現行計画の(1)～(4)に(5)を追加したことについて、意見を伺いたい。

○委員

検討項目①。骨子案の方はタイトルもあり、市民に分かりやすい。ここにグラフを入れてもいい。

○委員

検討項目①。骨子案の方が分かりやすい。

○委員

検討項目①。調査ごとに結果を羅列するより、骨子案の方が分かりやすい。

○委員長

検討項目①。骨子案では調査結果をいわば横串を刺している形で分かりやすい。その一方、回答の文脈が分かりづらい部分もあるため、骨子案の形とした上で、調査結果を紐付ける工夫を考えたい。

検討項目②。課題の表記として、コロナを別立てにするか、他の課題に溶け込ますかの意見を伺う。

○委員

検討項目②。コロナ禍の3年間、民生委員は地域のつながりなどの活動が出来なかったこともあり、コロナの課題は別立てにしたい。

○委員

コロナ禍では医療機関を受診ができないなどの影響が大きかった。コロナの課題は別立てにしたい。

○委員

アンケートの意見も入っており、コロナの課題は別立てでいい。

○副委員長

コロナは、解決が難しい課題も顕在化しているので、別立ての方がいい。課題について、「取組」「課題」など小見出しを付けると分かりやすい。

○委員

ほかのページのように、課題ごとに枠で囲うと見やすい。

○委員長

検討項目②。コロナ課題は別立てにする。この課題は、後で記載される重点的な取組につながるものであるが、コロナの課題は色々な形ででてくるため、課題と重点的な取組を完全に一致

させない書き方もできると思う。

○副委員長

課題②と③の違いが分かりづらい。

●事務局

課題②は相談のしづらさ、課題③は情報発信の課題を表している。

○副委員長

課題②は相談体制の一体化、課題③は発信方法の工夫になる。点字、言語などを課題に入れると分かりやすい。

○委員長

課題②は、つながらない人が居ることが課題であり、課題③は、そもそも情報が届かないという課題である。より分かりやすい内容を検討する。

検討項目③について意見を伺いたい。

○委員

検討項目③。(5)を追加し、成年後見で活動している人や組織を入れて欲しい。

○委員

保護司会、BBS会などもいる。(5)を入れた上で分かりやすく整理して欲しい。

○委員長

例えば、(4)市民と(5)ボランティアによる地域活動は重複する。計画を見た人が混乱しないよう、定義したい。個人的には商店、企業を地域活動と同列にするかは疑問がある。

成年、再犯に関わる新しい主体を(5)に入れることができる。

○委員

(4)は個人の取組、(5)は組織的な取組と理解していた。社会貢献をやっている会社もあるため、企業は入れた方がいいと思う。

○副委員長

(3)に、医療、消防、警察も入ると思う。(5)に学校を入れるかも検討してはどうか。

○委員

(3)に、消防を位置づけることは構わない。最も重要なことは、市民が分かるように区分すること。そこを意識して欲しい。

○委員

P15。調査結果の「住みやすい環境づくり」に道路整備への意見がある。民生委員からも常々言っているが、道路管理部署は聞いてくれない。計画に掲載したら実行して欲しい。「買い物が不便」という意見もある。南町にローソンができたが、それは行政の力ではない。

○委員長

インフラ、交通は簡単に進む事業ではないが、忘れてはいけない指摘であると思う。

○委員

成年後見では後見人養成なども重要になり、推進役の中核機関の話を早く進めて欲しい。

●事務局

市で目標を持って取り組みたい。

○委員長

骨子案で全体の構成は確認できたと思う。

■議題(3)その他

●事務局

次回 8 月以降に計画素案を検討する。進捗状況を踏まえて、改めて連絡する。

■閉会